



戸張市長の施政方針に

会派代表者が問う！

市長の施政方針より

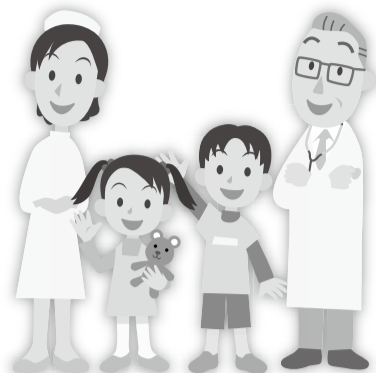
「住みよさ日本」目指し…

▼災害から市民の生命と財産を守る

▼子育てしやすいまちをつくる

▼まちの住みよさと魅力を高める

地域に向くことを心がけ、市民の皆様一人ひとりの声に直接耳を傾け、市民の皆様の想いを実現するためには何が最善かを常に考えながら、様々な課題にチャレンジしてまいります。



に努める。ライフサイクルコストも考慮し、必要な面積や機能を備えた新庁舎建設に向け、全力で取り組んで行く。

市民改革クラブ

伊藤 正勝

自民・みらい

松澤 正

公明党吉川市議員団

五十嵐 恵千子

日本共産党吉川市議員団

小林 昭子

（問）認可保育所の耐震化の現状と課題、今後の計画は。

（答）耐震化率は、全国と県内平均を下回る4%となっており、建て替えも検討せざるを得ない。今後、公立保育所は建物の改修、運営の在り方について検討し、早期に方針を決定して行きたい。

民間保育所は他の事例等も研究しながら、耐震化に向けた検討を行っていただくよう要請する。

（問）「子育て応援サイト」のトップページへ子育ての悩み相談窓口一覧も加え、さらに充実を。

（答）加える事が可能か事業者と調整する。また、新年度から、市民目線で内容の充実を図る。

（問）臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金対象者へ解りやすく個別の周知徹底を。

（答）早期の実施に向けて準備を進める。また、広報や案内の全戸配布など広く周知を行う手法や可能な限り対象者を限定した通知も行いたい。

（問）LED照明について、過去にリース方式を提案しているが計画的な設置や導入は。

（答）リース方式を念頭に、国の補助事業で採択された場合、検討し、市内全域での導入計画を定め、導入を進めたい。

（問）昨年来の医師会除名に端を発した予防接種、子宮がん検診問題の早期解決を。日本共産党市議員団は昨年5月「市民の不安が広がらない様万全の対応をする事」と市長に要望書を提出。9月議会の請願には「予防接種や検診を従前の通り受けられる措置をとる事」と付帯意見を提出し市長に送付。12月議会での

①予防接種区域外申請手続きの簡素化②子宮がん検診は個別契約等踏み込んだ解決策を。③保健カレンダーは市予算で作る事の3点の要望について答弁を。

（答）市としては当事者間での解決の努力で、当市の保健事業への協力を願うが対応策として①申請手続きを一度で済む様、簡素化を調整でき次第実施。②保健センターでの集団検診を医師会に協力を要請している。③新年度から市予算で作成する。

（問）住宅リフォーム助成制度に国交省は推進事業を創設した。平成25年度補正20億円、新年度30億円予算化。市の制度実施を。

（答）国の動向を注視し研究。（問）小中学校教室へクーラーの設置を求める。（答）大規模改修計画等を進めている。クーラーは考えてない。

今定例会では、1件の請願が提出され、審査の結果、不採択となりました。

「特定秘密保護法」を速やかに撤廃するよう国に意見書提出を求める請願

請願者 埼玉土建一般労働組合吉川松伏支部

支部長 松田省吾

紹介議員 佐藤 清治

小林 昭子

昨年暮れに「可決」「成立」した「特定秘密の保護に関する法律（特定秘密保護法）」は「軍事」「安保」「外交」にかかわるあらゆることを国民の目から覆い隠し調査、研究、取材、報道、言論の自由を奪おうとするものであり、日本国憲法で保障された基本的人権を侵害する治安立法です。国民の「知る権利」を奪い、報道・言論の自由を抑圧し、平和、自由、民主主義をおびやかす、「特定秘密保護法」を速やかに撤廃するよう、国に対して意見書をあげていただきますよう切に要望いたします。

地方自治法第124条の規定により上記の通り請願書を提出します。

請願

